

議事概要記録

開催日時	平成 25 年 7 月 20 日 11 時 00 分～12 時 30 分	開催場所	紀州路みなべ 2 階コンベンションホール
会議種別	平成 25 年度 第 2 回常務会理事会	議 長	竹中 正人
		書 記	田中 規仁
出席者 〈敬称略〉	竹中 正人、畑 忠良、大石 博晃、田中 規仁、木下 博之、		
欠席者 〈敬称略〉	玉置 達紀、	オブザーバー	
次 第			
議事概要	<p>表彰審査委員会から表彰状レイアウト等について 学部各種委員名簿 JAMTIS 変更について 和歌山県病院協会学術集会について 日臨技「全国 検査と健康展」について 認定心電技師について 福島県への甲状腺エコー検査派遣要請ならびに甲状腺エコー講習会について</p>		
決議事項 及び 継続事項	<p>表彰審査委員会から 表彰状（会長賞・学術奨励賞）について 標記並びに文面が分かりにくいという意見があった。会長賞等の賞名を分かりやすい位置に標記レイアウトを変更する事、並びに賞状サイズが小さいため、額縁に収まらないので、サイズを大きくする事の、2点について審議した。理事会承認に掛ける事となった。</p> <p>知事感謝状について 今年度は、村田前会長を和臨技から推薦する事となった。なお、新たに（成川病院協会長の計らいで）知事よりメデイカル・スタッフ部門への功労賞の設置について前向きに進んでいると報告があった。</p> <p>学部より 和臨技学術部の役員名が古いままと指摘があった。早急に訂正するように要請があった。</p> <p>和歌山県病院協会学術集会について 今年度は 11 月 23 日に開催すると正式に通達があった。テーマは災害に関するテーマ（仮）で、今年度は当会の演者はなし。会場運営のみとなる。なお、責任会場等の詳細は決まっていない。 和臨技としては、積極的に公益活動等の報告を一般演題としてエントリーしてはどうか。特に専門性では他団体では分かりにくいため、他団体との取り組みや公益性のある活動報告（AIDS や乳がん等）が和臨技活動としてアピールできるのではないか。積極的に発表するように和臨技として取り組むべきではないか。 なお、同じ日には和歌山大学祭にて、HIV/AIDS+STI 公益事業が重なっている為、公益の委員は「HIV/AIDS+STI」に、その他は病院協会へと運営を分けて行かなければならない。</p> <p>日臨技「全国 検査と健康展」について 健康展について当初は、年度初めでの企画案であったこと、再々については各府県技師会での任意判断であったため、今年度は見送ることとなっていた。しかし 6 月 27 日付日臨技発第 69 号の宮島会長名にて、全国 47 都道府県一斉開催の実施要請（義務）があった。 医療セミナー in わかやま と並行して行う事となった。運営方法（パネル作成やパ</p>		

	<p>ンフ配布) は今後の継続審議とし、責任者等の人選は会長と事務局一任となった。</p> <p>認定心電技師について 本日、会長が出席している近畿支部幹事会において、当制度のここ最近の問題については、近畿支部を通して和臨技の意見を述べるという事です。また、通達によれば日臨技は今後もしっかり執行していくと述べているが、有資格者に対しては何ら周知を行っておらず、各府県会長のみの通達は筋違いでないか、という旨を強く抗議するという事です。</p> <p>福島県への甲状腺エコー検査派遣要請ならびに甲状腺エコー講習会について 技師会から技師を派遣する事は、今の諸般の状況から難しい。むしろ、県等を通じて施設に対して派遣要請があったほうが、会員は動きやすいのではないか。また、日臨技主催の講習会についても、積極的に会員を派遣（もしくは推薦）する事も難しい状況である。</p>				
記録作成	平成 25 年 8 月 3 日	氏 名	田中 規仁	提 出	平成 25 年 8 月 4 日

※ 諮問委員会で「報告書」が提出される場合、「委員会議事録」が別途作成添付される場合は添付資料で可